

学年	氏名	2026年度の目標		今年度の意気込み	陸上競技部における部員の目標・オブリジョン	
		記録	戦績		在学中の目標	目標達成の理由
4	ジネリ 誠治	100m:10.64(9/20)	九州学生陸上競技選手権大会 100m 7位以上	自己ベスト3回更新 (8/6.8/21.9/20)	私の今年の最初に立てた目標は、8月6日に10.45を記録し、全日本インカレに出場することだったが、6月時点の記録が11.16であることから、現実的に考えて厳しいため、入部当初の目標であった10.64を目標として掲げます。	自己記録を更新するとともに入部当初の目標記録を達成し、大学陸上の幕を閉じたいと考えている。また、最後に自己ベストを出して、今まで支えてくれた家族や仲間へ自分の努力を記録で証明したいと考えている。
4	長友 蒼葉	100m:10.55(9/18) 200m:21.8(9/18)	西日本IC 100m準決勝進出 (10.65)	来シーズンで大きな飛躍を遂げるために、日々の練習を土台から着実に積み重ね、1歩1歩力を高めながら記録更新を目指す1年にしたいと考えています。	1、4年時に、100mで10秒55をマークする(九州学生陸上競技選手権大会) 2、院1年時に、宮崎県スポで男子100mに出場し、10秒35を出す 3、2026年11月の最終戦までに「応援したくなる選手」の人物像の獲得	1、現時点から九州学生陸上競技選手権大会まで十分な時間が残り、現実的なものではなかった。 2、今年強張りながら地道に練習を重ねていけば、残りの期間的に十分あり得ると思えた。また地元で頑張っていることを認めて感謝の種を蒔いた。 3、本目標の人物像に近づいていって、競技パフォーマンスも自ずと向上するのはと考えると。
4	川崎 秀智	200m:20.90(9/5-7)	日本IC 200m入賞(20.90)	今年度こそ上位大会に進出し、順位であったりタイムであったりPBを更新する。そのため、毎日の練習に意図を持って取り組む。	私の目標は男子200mにおいて2026年9月5~7日に神奈川県横浜市内にある日産スタジアムで開催される第95回日本学生陸上競技対抗選手権大会において、20秒90で入賞することです。	目標達成の理由として、これまで指導いただいた先生方や、両親(家族)、心の支えとなってくれた友人に記録で恩返しすると同時に、自己受容が行えるようになるためです。
3	池田 滯	100m:10.84	九州陸上競技選手権大会 100m 出場	10秒台を出して、自己記録更新する。	現在の自己記録11.02を最低でも10秒99で、それを更新できたら、10.84を目指して、九州選手権に出場する。	昨年度、非公認だったが、10.93で走れたので、そこから50.1秒は頑張れば更新できると考えている。また、九州選手権が目標タイムでちょうど参加標準記録で、参加できる大会のため。
3	櫛引 祐己	100m:10.85	九州学生陸上競技新人選手権大会 100m 準決勝進出	必ず1年間トレーニングを継続し、怪我無く練習を積み、そうすれば、必ず目標は達成できるだろう。	2026シーズン中、100mで、10.85以下の記録を出す。 2027シーズン中の西日本ICの100mで、10.60未満の記録を出して準決勝に進出する。ある程度レベルの高い大会である西日本インカレに出場し、「ただただ行けたい」という強い思いと、悔しい陸上人生を終える。	自己ベストを10.8台まで更新することで、ラストシーズンでの九州に出場に向けてまずは国内競争の権利を得る。自己ベストを出すことで、精神衛生を保つ。
3	近藤 大瑠	400mH:52.50 400m:48.10	西日本IC 400m、400mH 出場	今年度こそPBを更新する。結果を出して同級生の見本になれるよう日々の練習に取り組む。	3年時:400mHで西日本ICに出場、52秒50を切り組1着、3年ぶりにPB更新する。 4年時:400mHで日本ICに出場、50秒台を出し予選組2着以内、鹿屋体育大学記録を更新し決勝に進出する。	大学では全国大会に出場し、今までで陸上競技人生に慣れてきたので、今年度こそPB更新したい。
3	森田 龍一	100m:10.69(9/20)	九州学生陸上競技選手権大会 100m 入賞	伸び悩んでいるPBを大幅に更新し、応援してくれている家族や仲間を喜ばせたい。そのためにも競技離脱がないよう日々の生活習慣を徹底する。	100mにおいて、3年時には10.66を記録し、最終学年である4年時には10秒台前半である10.40の達成を目指します。また、在学中に九州インカレでの入賞を成し遂げたいと考えています。	自分の可能性を信じ、これまでずっと応援し続けてくれたいる家族の期待に応え、恩返しをするためです。
3	市岡 夢淳	400m:58.32(6/29)	西日本IC 400m 出場	400mで自己ベストの58.33を更新する。	3年次に400mで西日本インカレに出場し、自己ベスト58.33を更新する。 4年次に、400mで58.0を切って57秒台を出す。	大学では、シーズンベストは伸びているが、自己ベストは更新できていないため、成長を結果で示したい。全国大会に出場したことがないから出たい。
3	永井 侑太	100m:10.65	九州学生陸上競技選手権大会 100m 入賞	去年は大きな肉離れを起こしてしまい、後半の試合に出場できなかったため、今年こそは残りの試合に全出場したい。	私が成し遂げたい目標は、大学4年生で100mで日本ICに出場すること。その為に短距離の選手がタイムを出しやすい、8月の競技会で10秒65を3年生で出し、走力の土台をつくる。 4年生では九州ICで10秒45以内を記録し、決勝上位を争うことで全カレ標準突破につなげたい。	支えてくれている家族がいるからこそ、私は競技を続けることができている。送迎や費用面、日々の応援など、見えなくても多くの支えを受けてきた。その感謝の気持ちを言葉だけでなく、結果や成長した姿で返したいと思っている。陸上で目標を達成することは、自分のためだけでなく、これまで支えてくれた家族への恩返しにもつながる。だからこそ、苦しい時でも努力を続け、少しでも良い結果を出したい。
2	石本 桜子	100mH:14.40 100m:12.60	西日本IC 100m、100mH 出場	自分に厳しく向き合いながら、謙虚な姿勢を忘れず競技力の向上に努めます。	私は2年生のうちから100mHで日本ICのB標準である14.10を8月(学内試合・学内試合問わず)までに突破することを目標とします。 3年生では100mで全日本インカレのB標準である12.00を8月(学内試合・学外試合問わず)までに突破することを目標とします。 4年生では、短距離プロジェクトの中心選手として、チームをまとめるために、100m、100mHで安定した記録を出して、九州インカレ、西日本インカレで3位以内を果たすことを目標とします。また、技術面・精神面の両方で後輩を引っ張る存在となり、チーム全体の競技力向上に貢献します。	2年生の目標の理由は、全国レベルで戦うための第一歩として標準記録の突破が必要であり、自分の現在の実力から見ても努力次第で到達可能なラインであると考えるためです。 3年生の目標の理由は、短距離種目においても全国レベルで通用する力を身につけ、自分の競技の幅を広げるとともにチームに貢献できる選手になるためです。 4年生の目標の理由は、これまで培ってきた経験や技術をチームに還元し、個人としてだけでなく、組織として結果を出せる集団を作りたいためです。
2	横山 雅乃	400m:62.80	九州学生陸上競技選手権大会 400m 62秒台	練習も日常生活も自分を律して充実させていきたいと思っています。	今年、2年次の目標は、400mで10月までに62秒台を出すことです。昨年の自己記録が63秒50であるため、その記録を更新したいと考えています。 3年次では、400mで西日本インカレのB標準である59秒50を九州インカレに出場、また次の大会へと繋げていきたいと考えています。 4年次では、400mで58秒台に突入し、九州インカレで表彰台にのり、チームに貢献できるようにすることが目標です。また安定して60秒を切る走りができるようになります。最上級生としても皆から信頼される、また人間的にも信頼されるような存在へ成長したいと思っています。	私が目標を達成したい理由は、これまで支えてくださった方々へ結果で恩返しをするためです。高校時代、私は悔しい思いながら競技を終えました。それまで何か一つのこと本気で打ち込んだ経験がなかった私が、陸上に向き合い続けることができたのは、日々指導してくださった先生や、どんな時も支えてくれた家族の存在があったからです。 大学では、自身の記録更新目標記録といった具体的な目標を掲げ、これまでに以上で競技に向き合っています。そして、その結果を通して支えてくださった方々に成長した姿を見せることが、私にとっての恩返しであると考えています。 大学での4年間を競技人生の集大成と位置づけ、自分の持てる力をすべて出し切り、「やり切った」と思える自分になることが目標です。
2	戸谷 浩徳	400mH:51.8(6/20)	九州学生陸上競技選手権大会 400mH 3位	怪我をしないことを第一に置き、常に自分の走りをしてPBを更新する。	2年次では西日本IC(予選)で400mH(51.9)を出す。 3年次では西日本IC(決勝)で400mH(51.5)を出す。 4年次では日本IC(予選)で400mH(50.8)を出す。	2年次:3年で日本ICに出場するために出しておきたい最低のタイムのため。 3年次:日本ICのB標準が51.6秒のため。 4年次:今まで応援してくれた家族への恩返しのため。
2	渋谷 龍馬	400m:50.00	九州学生陸上競技新人選手権大会 400m 入賞	怪我をせず1つでも多くの試合に出場する。	2年次:50.00(九州新人入賞) 3年次:48.95(西日本IC B標準突破) 4年次:48.45	2年次では、記録を狙いつつも来年度以降の準備の年として考えており、走り方やフィジカルの改善・強化を中心にしたいと考えている。次に3年次では、2年次までに準備してきたことを発揮しつつ、より大きな大会での記録更新を狙いながら、全国出場に向けて力を付けていきたいから。最後に4年次では、これまでの集大成として全国大会に出場し、自分の持てる力を余すことなく発揮し、笑顔で大学の陸上競技生活を終えたいと考えている。
1	浅井 颯太	100m:10.70	九州学生陸上競技選手権大会 100m 入賞	自己ベスト更新します。	1年次10.70 2年次10.60(西日本IC A標準) 3年次10.50 4年次10.35(日本IC A標準)	4年生で日本ICに出場することを目標にして、一番現実的な目標設定にした。
1	下松谷 柊	110mH:14.80	U20日本選手権 110mH 出場	ベストを目指して頑張ります。	1年次14.80(西日本IC出場) 2年次14.50 3年次14.2(学生個人出場) 4年次13.90(日本IC出場)	年ごとの自己ベスト更新に加え学生個人や全日本インカレなどの上位大会で結果を残したいと考えています。
1	福井 拓真	110mH:14.60	九州学生陸上競技新人選手権大会 110mH 入賞	怪我の再発をしないように心掛ける。	1年次14.60 2年次14.20(日本IC出場) 3年次13.90(日本選手権標準突破) 4年次13.80(日本選手権出場)	高いレベルの大会で戦いたいから。
1	長友 朱理	110mH:14.40 100m:10.85	西日本IC 110mH 準決勝進出 U20日本選手権 110mH 出場	環境に慣れる事で一杯とちがちな一年次には、再年度以降に繋がるような土台作りをしつつ、しっかりと結果も狙っていきたい。	1年次:14.40(西日本IC準決勝出場、U20日本選手権出場) 2年次:14.20(西日本IC決勝進出、全日本インカレ標準突破) 3年次:14.00(日本IC決勝進出、体大記録更新) 4年次:13.90(日本選手権出場)	「歴年から全国へ」関東勢が強いハード種目で一矢報いた。PB更新や大会成績で支えていた周りの方々に恩返しをするため。
1	福留 響	200m:21.50	九州陸上競技選手権大会 200m 入賞	大幅自己ベスト更新	1年次21.50 2年次21.30(西日本IC出場) 3年次21.10(日本IC出場) 4年次20.90(日本IC出場)	高校時代怪我に悩まされ、全国大会の舞台で走ることが出来なかったため全国の舞台で走りたいから。
1	横山 歩磨	400m:47.39	全日本IC 400m 出場	全カレの標準切ります!	1年次400m47.39 200m21.30(西日本IC入賞) 2年次400m46.99 300m33.49 200m20.99(国スポ出場) 3年次200m20.85 400m46.50(日本IC入賞) 4年次200m20.75 400m46.40(日本選手権出場)	日本選手権で走ってみたいという夢がずっとあるから。
1	幸村 優輝	100m:10.60	九州学生陸上競技選手権大会 九州学生陸上競技新人選手権大会 100m 入賞	考え練習することを常に意識	1年次10.60 2年次西日本IC出場、10.50 3年次10.45(全カレ標準突破) 4年次10.3台	高校から陸上競技を始めて最後の大会も納得のいく結果ではなかったため、大学では自分の走りがかっこよく伸びるかを試してみたいと考えているから。また、真つ当に努力していれば全カレにも出場できるという自信があるから。